

# 能代市における森林環境譲与税の活用について

## ■活用状況（全体像）

区分	令和元年度～ 令和4年度	令和5年度	計	令和5年度末 時点の活用率	未執行額の活用方針
活用額（円）	102,344,393	86,139,918	188,484,311	90%	令和6年度以降の森林経営管理 事業及び森林整備等に活用
譲与額（円）	154,259,000	55,056,000	209,315,000		

## ■令和5年度の具体的な活用状況

区分	事業	事業費（円）		事業内容
			うち 森林環境譲与税	
森林整備	森林経営管理事業	45,697,357	45,684,918	常盤・久喜沢地区で森林境界調査232ha、種・梅内地区で航空レーザ計測1,625haを実施。
	森林・林業活性化総合支援事業（森林整備支援）	18,940,000	15,013,250	森林経営計画を作成している森林等で実施する植栽16ha及び間伐71haに対して助成。
	森林・林業活性化総合支援事業（機械化支援）	16,114,000	16,114,000	フォワーダ等6台の高性能林業機械を導入する3事業体を支援。
人材育成	森林・林業活性化総合支援事業（担い手支援）	4,002,750	4,002,750	12名の担い手を雇用育成する2事業体を支援。
	森林・林業活性化総合支援事業（経営管理支援）	5,325,000	5,325,000	森林所有者に代わり2,663haの森林管理の受け皿となる1事業体を支援。
基金積立		0	0	能代市森林環境譲与税基金
合計		90,079,107	86,139,918	

## ■今後の実施計画

### ①能代市独自の森林経営管理事業「能代システム」の実施



- ・市内の杉人工林（約1万ha）を対象に市内全域を14地区に分割。
- ・1地区3年程度を目安に実施。
- ・予定額：約30～50百万円／年

### ②再造林等の森林整備と林業の担い手確保を推進

森林資源の循環利用と木材生産の効率化を促進するとともに、担い手となる従事者確保等につながる取組を推進する。

